

第6回夏季医療経営セミナー

医療安全と患者の尊厳の両立は可能か

<テーマの背景>

1999年、複数の大規模医療事故を契機に、医療安全への関心が高まった。翌年「医療過誤による死亡者数は交通事故死よりも乳がんによる死亡者数よりも多い」(米国)との報告もあって、リスクマネジメントの理念とシステムが普及し、アクシデント・インシデントレポートが定着して来た(これにより訴訟件数の減少や患者のクレーム頻度が少なくなったかどうかについては、資料を持ち合わせない)。

医療における安全最優先の思想と実践は、如何なる時代においても重視する必要があるが、そのことを口実にして、新たな問題が生じていることにも目を向ける必要があると思う。それは、安全性と並んで医療の根本理念でもある、患者その人の尊厳を脅かす事象に現れている。入院患者の高齢化、重症化、ならびに患者の病院滞在期間が短くなっていることにより、直接の訴えが経営者の耳に届きにくくなっていることもあると思われるが、患者の入院入所理由以外の要素による苦痛や、人権の脅かしの事例が日常的に起きていて、放置すれば社会問題になりかねない。

一方、第7期医療計画によれば、2025年の病院モデルは地域密着型の慢性期にシフトする病院を目指すという。後期高齢者比率の高まりによる疾病構造からも、高密度、高難度の医療よりも亜急性期を含む長期療養の需要が高まることは必須である。すなわち、在宅を視野に入れた病院医療のあり方を問い、入院日数を見直し、キュアからケアへの転換を考慮した病院運営がのぞまれる。

そこで、病院の将来構想を視野に入れつつ、入院・外来医療、看護のあり方、医・介連携などについての問題を各演者に提起して頂き、医療安全を前提にして患者の尊厳を保持した病院医療・看護のイメージから病院経営の今後に迫って頂く。

記

日時：平成26年6月28日(土) 13:00～17:00

場所：東京大学医学部教育研究棟13階

MAP：http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_02_09_j.html

プログラム

◇基調講演 「2025年に向かう病院再編構想について」

座長 伊藤雅治先生 社団法人 全国社会保険協会連合会 理事長

演者 高橋 泰先生 国際医療福祉大学大学院 教授

◇シンポジウム 「医療安全と患者の尊厳の両立ー病院経営の立場から」

シンポジスト 富家 隆樹先生 医療法人社団富家会 富家病院 理事長

勝原裕美子先生 聖隷浜松病院副院長 看護部長

小柳 左門先生 特定医療法人原土井病院 院長

テーマ解題と司会

川嶋みどり

日本医療経営学会セミナー担当理事

日本赤十字看護大学客員教授

参加費 : 日本医療経営学会 会員 5,000 円 (当日入会会員にも適用)

非会員 7,000 円

事前申込 : 日本医療経営学会 会員 4,000 円 (申込時入会会員にも適用)

非会員 6,000 円

※事前申込みをご希望される方は、ホームページの「事前登録申込み」ボタンからお手続きください。

【 <http://www.jaha.jp/> 】

※先着順に定員になり次第締め切らせていただきますのでお早めにお申込みください。

※都合によりプログラム・講師等が変更となる場合がありますので、ご了承下さい。

申込締切 ~~2014年6月5日(木)~~ ⇒6月11日まで延長しました

連絡先 :

一般社団法人 日本医療経営学会事務局 〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-1-30

イタリア文化会館ビル 8階 株式会社メディカルトリビューン内

TEL : 03-3239-7264 FAX : 03-3239-7225 E-mail : jaha@medical-tribune.co.jp

< 東京大学医学部教育研究棟 アクセス >



※春日門についてはH24年8月1日～H26年5月上旬(予定)まで通行止めとなりますのでご注意ください